2005(前)　　社会科学方法論（５）　　不確実性と意思決定　　2005.5.20

＜遅れてもいいからレポート出しましょうね＞

前回続　□　リベラル・パラドックス（Sen）

D.H.Lawrence　*Lady Chaterley's Lover*（1928）をめぐる道徳家と好色家の論議

=＞　パレート原理を前提とすると、オカシナことになる(といいたい)

＊　どうも Sen には、パレート原理は西洋人の偽善と見えるらしい。

□　「パレート最適」Pareto Optimum について：p.112

例：

いよいよ　　=>　　第６章「不確実性と意思決定」p.117

□「不確実性」とは？

・広義

・狭義

□ 不確実性下の意思決定　ex.今日の天気、大学の入学金、外科手術、株式投資、・・・

表 6.1（ p.118 参照）を見ながら

４通りの決定基準（decision *criteria*）

・

・

・

・

□　「確率」の定義

・期待値　expected value （expectation とも）　記号：E(　)

□「期待効用仮説」　＜=　認めておこう　[次回]

・期待効用 expected utility

・応用１　：なぜ投資する（しない）のか　＊限界効用、リスク・プレミアム

・応用２　：なぜ保険へ加入する（しない）のか

□　ポートフォリオ理論、金融工学への発展